

桜蔭会群馬支部だより



第17号 令和5年9月

ご挨拶

支部長 佐塚公代

爽やかな秋風を感じる頃、同窓会の皆様におかれましては、ご健勝のこととお慶びもうしあげます。



さて、昨年度もコロナ禍ではありましたが、感染対策を万全におこない、支部総会、懇親会を開催することができました。ただ講演予定の悴田智子様がコロナ感染となるハプニングがあり、後日ユーチューブ動画を総会出席者の方へ配信いたしました。その様子は、この会報の3ページで会員の皆様と文章で共有させていただきたいと思っております。

また、総会におきましては、令和5年・6年度の支部役員が次のように決まりました。

会長 佐塚公代 (昭和49 児)

書記 梅山徳子 (昭和62 物)

会計 鈴木厚子 (昭和52 生)

会計監査 鵜飼章子 (昭和53 地)

どうぞよろしくお願いたします。

今年度は、久しぶりに支部総会を東毛地区の桐生市で開催いたします。秋のひとつき、同窓の皆様と楽しかった学生の頃の思い出話や近況などを報告しあい、桐生の織の文化にも触れていただきたいと思います。皆様のご参加をお待ちしております。

令和5年度 群馬桜蔭会支部総会のご案内

■ 日時: 令和5年11月23日(木・祝日)
11:30~13:30 (総会、会食)

■ 場所: 海鮮ダイニング美喜仁館 桐生店
テーブル・椅子席 Tel: 0277-46-3420

両毛線桐生駅南口から徒歩5分

住所: 桐生市元宿町19-1 駐車場有

■ 会費: 4,000円 (当日集金)

■ 内容:

1 総会

2 会食と懇談

※ この後、見学希望の方は、織物参考館「紫」(詳細は、P.4 参照)に移動します。

3 織物参考館「紫」見学

(入館料700円 15:00終了予定)

■ 出欠の確認

①、②のいずれかの方法で、10月31日(火)までにお送り下さい。

(早めにお送りくださると助かります)

① 同封のハガキに記入し、郵送する

② 以下のQRコードを読み込んで必要事項を入力し送信する。



<お問合せ先>

梅山 徳子

TEL 090-7834-6487



令和4年度 支部活動報告



- 1 「桜蔭会群馬支部だより第 16 号」の発行
- 2 支部総会 令和 4 年 11 月 23 日(水・祝日)
ホテル・ラシーネ新前橋 椅子席和室「松」にて

- ・ 会計報告・監査報告承認
- ・ 会食と懇談
- ・ 写真撮影

この後、悴田智子さんによる講演を予定していましたが、急病のため開催できませんでした。そのため、後日 YouTube 上で配信させていただきました。



☆多支部会費納入のお願い ☆多

桜蔭会群馬支部では、2年に一度、会員の皆様に、本部会費とは別に、支部会費の納入をお願いしております。

令和 5 年・6 年度分(1,000 円)を同封の振込用紙で、お近くの郵便局よりお振り込みいただきますようお願いいたします。

なお、ゆうちょ銀行以外からの振り込みは以下の番号です。

店名: ○五九(ゼロゴキユウ)

預金種目: 当座 番号: 0093469

桜蔭会本部からの支部助成金が、令和 2 年度より減額(支部会員 1 人あたり 180 円から 100 円)になりました。

皆様にお支払いいただいた支部会費は、支部の運営資金として大切に使用させていただきますのでよろしくお願いいたします。

なお、書き損じハガキなどお持ちでしたら総会時にお持ちいただけると助かります。

令和 4 年度会計報告 (令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日)

| 収入 | | 支出 | |
|---------------|---------|---------------|---------|
| 前年度繰越金 | 133,782 | 令和 4 年度支部総会費用 | 82,150 |
| 令和 4 年度支部助成金 | 36,700 | 支部だより発行費 | 43,565 |
| 令和 4 年度支部総会会費 | 64,000 | 講演会等事業費 | 5,000 |
| 支部会費 | 0 | 事務費 | 2,838 |
| 預金利子 | 1 | 会議費 | 0 |
| | | 慶弔費 | 0 |
| | | 雑費 | 440 |
| 収入計 | 234,483 | 支出計 | 133,993 |
| 差引残高 (次年度繰越) | | 100,490 | |

国語教師、少しだけ、NGO職員を体験する



悴田 智子（平 16 人間社会科学科卒）

初任校での海外修学旅行引率が初めての海外体験であり、それを機に東南アジアに関心を寄せるようになった。高崎市の日本語支援ボランティアに参加したり、大学院に進学して東南アジア研究の修士号を取得したりしながら、東南アジアとかかわる方法を探ってきた。

県立高校に 15 年勤務したが、40 歳になったことを機に、国際協力を職業にしたいと考えた。3 年間担任したクラスが卒業する直前から転職活動を始めたが、関心のある求人の 8 割近くは、語学力も経験もないために応募できない求人であった。転職活動を通してファンドレイザー（非営利団体の事業経営のために、さまざまな方法で資金をはじめとした支援を集める人）という職種を知り関心を持ったが、転職活動は難航を極めた。

秋になり、カンボジアで活動する新興 NGO の求人を見つけた。ポル・ポト政権により破壊されたカンボジアの教育行政再興を支援してきた団体で、学部時代に教育行政学を少しだけ学んだこともあって事業内容に関心を持ち、県立高校を退職して日本事務局に入職した。

教員時代に培った手腕を用いて、自団体の広報活動に限らず、国際協力に関心を持ってもらえるような啓蒙活動に注力することを期待して入職したものの、「収益事業としての広報・啓蒙活動は資金調達には非効率」との団体の方針を知って落胆した。また、労働環境や団体の内部事情も、長く働き続けるためには不安要素が多すぎた。

どのような仕事が「公益」なのか、を考えたとき、いま自分が置かれている状況よりも、教師の仕事の方がよほど「公益」なのではないかと思い直し、学校に戻ることを決意した。

【付記】 カンボジアの教育状況と、日本のカンボジアの支援に関するメモ

・1970 年代のポル・ポト政権では、200 万人の国民が虐殺された。教師、医師、大学生などの、政権運営に都合が悪い知識層が特に多く虐殺され、1974 年当時 2 万人いた教員の 75% が、初等・中等教育を受けた児童生徒の 67%、高等教育を受けた学生の 80% が虐殺された。このような事情から、国民の平均年齢が若い。

・教師の質が日本と比較してたいへん低い。例えば、授業では教科書をただ読んで聞かせるだけだったり、生徒の質問に満足に答えられない教師もいる。

・国定教科書の内容に誤りが多い。基本的に児童生徒への貸与であるが、貸与されたはずの教科書も紛失が多かったり、市場に横流しされて売られていたりする。

・校舎・教室の数も少なく、授業は午前と午後の 2 部制で実施されている。

・日本では当然ある、給食や学校保健と言った概念が存在しない。

・カンボジアを支援する日本の NGO は複数あり、教育だけでなく、医療・地雷除去などの面で活躍している。

<群馬県外にお住まいの群馬支部会員の皆様へ>

桜蔭会本部にご実家の住所などを届けている方で、現在住んでおられる都道府県の支部会員になることをご希望の方は、同封の支部総会等出席確認用の返信ハガキか、QR コードで読み込んだフォーム内の「ご連絡先」に住所、電話番号を明記し「近況欄」にその旨をご記入ください。

<織物参考館「紫」^{ゆかり}の紹介> ～桐生は日本の機どころ～

今年度の総会を開催する桐生市は、1300年もの歴史がある織物の町です。そこで、役員一同でいろいろな施設へ視察に行き、桐生織の技術を実際に見て・学んで・体験できる織物参考館「紫」の見学を企画しました。「紫」の資料館を兼ねたノコギリ屋根の工場には、1200点余りの貴重な織物関連資料が展示されています。なかでも参考館自慢の日本一大きな高機は見ごたえがあり、現在カレンダーなどを織っているコンピュータージャカード機への変遷の様子が興味深く学べます。当日は、ガイドさんによる解説付きで館内を見学し、様々な織機での織物体験もできます。今年は桐生で、大人のプチ修学旅行を楽しんでください！

～織物参考館「紫」^{ゆかり}～

住所 〒376-0034 桐生市東4丁目2-24
Tel 0277-45-3111
URL <http://www.morihide.co.jp>



桜蔭会定期総会・懇談会・連絡協議会報告

2023年5月27日にzoomによるオンラインで定期総会・懇談会・連絡協議会が開催されました。懇談会には母校、お茶の水女子大学と桜蔭学園から来賓をお迎えし多くの情報を盛り込んだお話を伺いました。

大学は2025年に創立150周年を迎え記念事業の準備を進めており、特設サイトでは150のメッセージというコーナーで卒業生からのメッセージを募集しています。

大学の入学式や授業も通常の対面に戻りました。東大との共同授業の協定も結ばれ4月から駒場で20人弱のお茶大生がスタートアップ関係の授業に参加しています。また、2024年には共創工学部が新設され、文系の人も入れる文化情報を扱う工学をアピールしていくなど、未来に向けての大学の挑戦が感じられました。

桜蔭会本部と支部との交流である連絡協議会では、桜蔭会が2024年120周年を迎えるにあたり記念事業委員会を立ち上げ、史料チームとエッセイチームに分かれ作業を進めていることが報告されました。ことに、エッセイチームでは、災害やコロナ禍など色々なことが起こったこの20年間のエッセイを募集しており、是非とも会員の皆様には今思うこと、書きたいことを自由に書いて欲しいということでした。エッセイ原稿も続々集まりHPの会員専用ページで見ることができますのでご覧になってください。

協議会の最後には各支部がブロックに別れ、支部長交代の工夫や近況などを報告しあい、和やかな雰囲気の中会を終了いたしました。

